

# なぜ子供の虐待が減らないのか？

2班 X 11-

## 1. はじめに

### ① 目的・疑問・仮説

- ・何故虐待が減らないのか
- ・子供が逃げる場所はあるのか

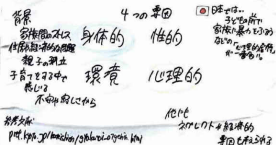
### ② 研究の背景

- ・子供の未来をくすため虐待死を無くす

## 3. 親の特徴

- ・子供に対する理解が乏しい(1人目か特に)
- ・ストレス 過去に虐待をされていた
  - ↳育児、会社 ↳愛し方が分からない
- ・子供に理想押し付けている
- ↳学歴周りと比較
- ・本当は産みたくなかった、望んでいなかった
  - ↳中絶が過ぎた、避妊してもらえなかった

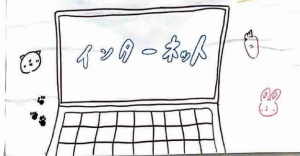
## 虐待される子供の環境



## 考察 何故虐待は減らないのか？

- ① 母親が過去に虐待されていたことによる
- ② 望まない妊娠
- ③ 家族間のストレス
- ④ 住居や経済的問題
- ⑤ 心理的虐待
- ⑥ 親・子供に病気や障害がある

## 2. 調査方法



### 子供が利用できる施設

虐待を受けた子供が危機的状況にある状態から回復するには、児童福祉法により児童福祉所が一時的保護し、その後児童福祉施設に入所したり、里親さんにも委託したりする。

### 【児童福祉施設の種類】

- ・児童養護施設・乳児院・児童自立支援施設・情緒障害児短期治療施設

### ・母子生活支援施設・里親

2008年虐待を受けた子供の児童養護施設の入所率は **53.4%**  
他にも、父母が行方不明、父母の就労や入院、父母の死亡、放任や遺棄、虐待、養育拒否 などの施設で18歳まで生活出来る。

どの世代・地域・国に虐待が多いのか。

子供10万人を基準に虐待で死亡した割合の高い国。

① 日本

② X

③ 米国

米国→米国の実数は日本で2倍強で110万人。

子供10万人で虐待で死亡した人数は、日本は約100人、米国は約200人、Xは約100人、Yは約100人。

性別

・男の子は女の子の約1.5倍

・平均年齢は17歳

・6歳未満の子供は10%、6歳から14歳の子供は20%、15歳から19歳の子供は30%、20歳以上の子供は40%。

・性別で見たら、0歳から5歳の子供は男の子が割合が一番多く、5歳以上の年齢では、女の子が割合が多くなる。

## まとめ

親の精神・問題や、経済的問題による  
ネット上でも多く、虐待がいつまで  
減っていません。

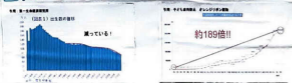
少しでも虐待を減らすためには、問題を緩和する  
施設や、地域や周りの人たちの協力が必要だと  
考えました。

# なぜ、子供の虐待が減らないのか?

～手を差し伸べやすい環境づくり～

## 2班

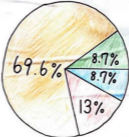
### 1. はじめに



「なぜ子どもの出生数は減っているのに、児童虐待は増えているのか」

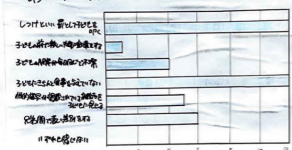
### 2. アンケート結果

～あなたの周りに虐待があったら手を差し伸べれるか～



- できる
- できない
- 周りの大人に相談する
- 児童相談所に連絡する

### 3. ～あなたに虐待と感じるものは?～



### 4. 虐待を減らすために.

自立支援基金

「親のサポート基金」

2004年4月開始された児童虐待防止を目的とする児童虐待防止のための自立支援基金です。

里親制度

虐待の連鎖を断るために、里親制度を作ることによって子どもの愛情や生活の補填、サポートしていくことで次の世代に以前の育ちを相伝せません。

### 5. SOSサインの種類

「世界共通」のハンドサインの意味 → 「助け」  
声を出せない状況でも、ハンドサインで助けを知らせることができる。



(引用分献) イカスカワ

### 6. 児童養護施設放問

① 児童養護施設の入所率 53.4% ↓理由

- ・児童養護施設の入所条件・入所理由が幅広いから。
- ② 接し方で気をつけていること
- ・沢山褒めて自信をつける

### 7. 私達の考え

・里親制度

⇒ 本当の愛情を与えることで次の世代に相伝させない。

・子供食堂

⇒ 居場所、休まず子育ての悩みやストレスの解消、休期特

→ 勇気ある行動が大切!

### 8. 今後について

今後の課題

私生活に出来ること

虐待防止

- ・子どもの虐待について知る
- ・家計を支援する
- ・児童相談所などに相談する
- ・勇気を出して声をかけたりする

私達、お主体的に身近な子ども達に手を差し伸べてほしい。  
私達、お主体的に身近な子ども達に手を差し伸べてほしい。  
私達、お主体的に身近な子ども達に手を差し伸べてほしい。